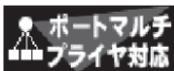
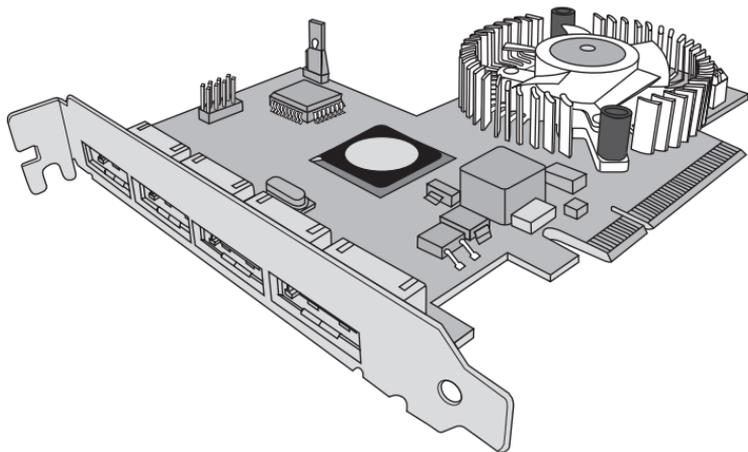


eSATA 4port PCI Express Board

REX-PE34-Z

ユーザーズマニュアル

2013年9月 第2.0版



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- PCI-SIG、PCI Express、PCI Expressロゴ、PCIeは、PCI-SIGの登録商標です。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Boot Camp、Mac、Mac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

●	安全にご使用いただくために	2
1	はじめに	3
	-1. 動作環境	3
	-2. 内容物の確認	4
	-3. 各部の名称	4
	-4. 使用上の注意	5
2	Windowsで使用する場合	6
	-1. 本製品が使えるようになるまでの手順	6
	-2. PCIeボードの取り付け	6
	-3. ドライバーのインストールとセットアップの確認	7
	-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール	14
	-5. ホットプラグツールの使い方	15
	-6. ホットプラグツールの削除	20
	-7. PCIeボード経由でOSをインストールする	21
3	Mac OSで使用する場合	24
	-1. 本製品が使えるようになるまでの手順	24
	-2. ドライバーのインストール	24
	-3. PCIeボードの取り付け	26
	-4. セットアップの確認	27
	-5. ホットプラグの使い方	28
	-6. ドライバーの削除	29
4	お問い合わせ	30
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	30
	-2. 修理について	31
5	オプション品/対応製品のご案内	31
6	一般仕様	32
●	REX-PE34-Z 質問用紙	

安全にご使用いただくために

本製品は安全に十分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカー等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、十分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

【電波障害自主規制について】

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

1

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。



本文中の記載について

※PCI Expressは、PCIeと表記することがあります。

※記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。フォルダー名、ファイル名、画面などが変更されている場合があります。予めご了承ください。

1

-1. 動作環境

- ◆ 対応OS : Windows 8/7/Vista/XP、Windows Server 2008/2003
※32ビット・64ビット両対応(Windows XPを除く)

Mac OS X 10.4以降

※64ビット版には対応していません。

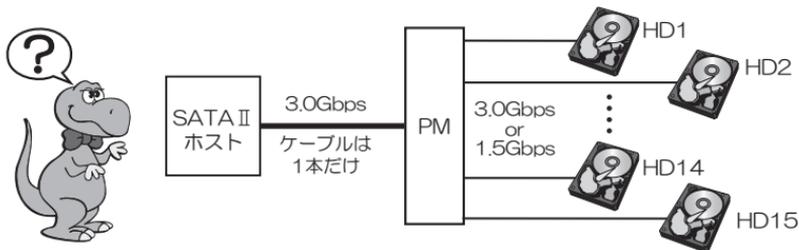
※Mac OS X 10.6.1(32ビット)での動作は確認済みです。(2013年9月現在)

- ◆ 対応機種 : PCIeスロット(x8またはx16)を搭載した以下の機種
・Windows PC
・Mac Pro
※Mac OSの場合、本製品に接続したハードディスクからの起動には対応していません。

- ◆ 対応デバイス : eSATAに準拠したデバイスに対応
・“ポートマルチプライヤー対応”外付けリムーバブルケース (SA3-DK5-EU3Rなど)
・外付けリムーバブルケース(SA3-DK1-EU3など)
・外付け5インチドライブケース(RS-EC5ES-BKなど)

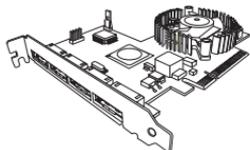
ポートマルチプライヤー(PM)とは？

SATA II 規格からの新機能で、1つのホスト(ポート)に、複数のデバイスを接続できる(複数のポートに分ける事のできる)機器、または機能の事を指します。単純に言えば、一種のハブのような機能です。規格では、1つのPMに最大15台までのデバイスが接続可能です。

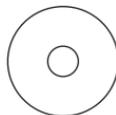


1-2. 内容物の確認

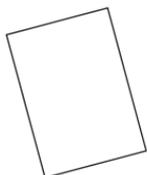
パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。
万が一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



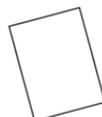
● REX-PE34-Z
(eSATA 4ポート PCIeボード)



● ソフトウェア
CD-ROM

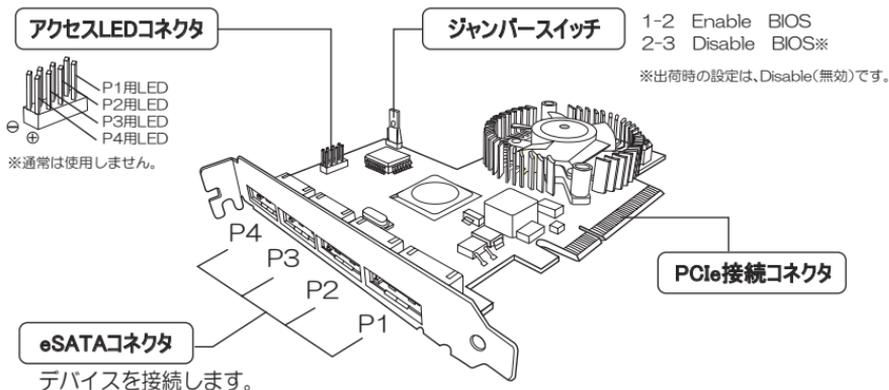


● ユーザーズマニュアル
(本書)



● 保証書

1-3. 各部の名称



7 -4. 使用上の注意

- eSATAケーブルは最長200cmまでのものを使用してください。
- Mac OSの場合、本製品に接続したハードディスクからの起動には対応していません。
- Boot Campなどの仮想OSでの使用はサポートしていません。
- Mac OSのクラシック環境での使用はサポートしていません。
- 接続したデバイスへの電源供給はおこなえません。
- SATA IIの機能(3Gbps転送やNCQなど)を使用するためには、各機能に対応したデバイスが必要です。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

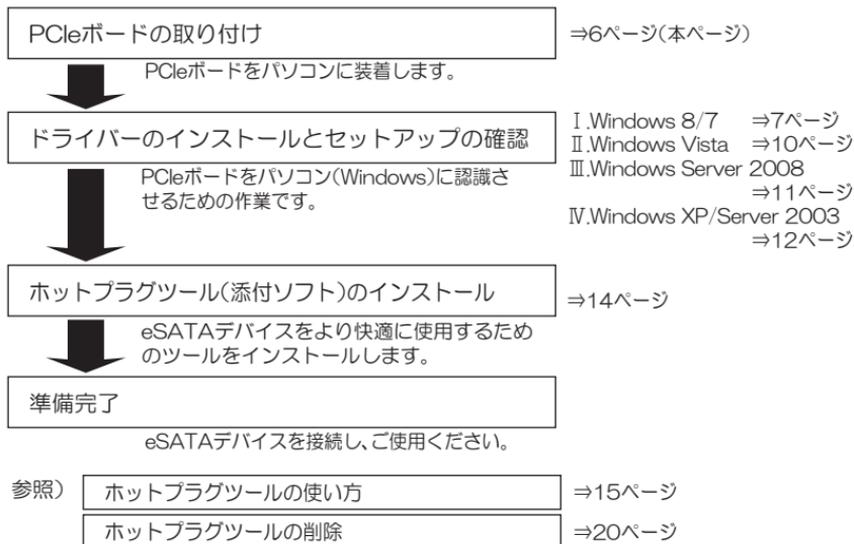


- 2** Windowsで使用する場合 ⇒6ページへ
進んでください。
- 3** Mac OSで使用する場合 ⇒24ページへ

2

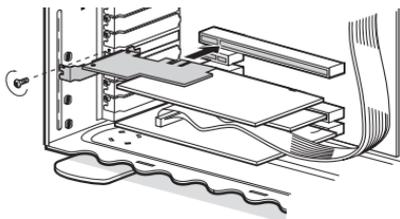
Windowsで使用する場合

2-1. 本製品が使えるようになるまでの手順



2-2. PCIeボードの取り付け

1. パソコンの電源を切ります。
2. PCIeスロット(x8またはx16)に、PCIeボードを取り付けます。



⚠ 注意

- 本製品に搭載したファンと隣接するボードや配線ケーブルが干渉しないよう注意して取り付けてください。
- スロットに対し、ボードが傾いた状態で使用すると、本製品やパソコン本体が破損する恐れがあります。
- 金色の接触部がソケットへ完全に見えなくなるまで挿入してください。
- 図示のように、ブラケットは必ずネジ止めをしてください。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、十分注意して作業をおこなってください。

2-3. ドライバーのインストールとセットアップの確認

OS別にドライバーのインストールとセットアップの確認手順を説明します。

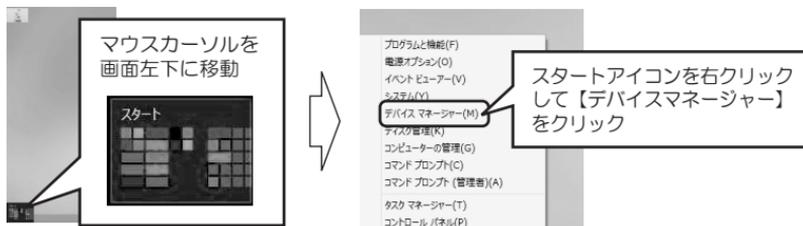
- I. 【Windows 8/7の場合】: ⇒7ページ(本ページ)
- II. 【Windows Vistaの場合】: ⇒10ページ
- II. 【Windows Server 2008の場合】: ⇒11ページ
※Windows Server 2008 R2はI. 【Windows 8/7の場合】を参照してください。
- III. 【Windows XP/Server 2003の場合】: ⇒12ページ

I. 【Windows 8/7の場合】

1. PCIeボード取り付け後、パソコンの電源を入れます。
2. デバイスマネージャーを開きます。
※以下、“デバイスマネージャー”の開き方(一例)を説明します。

■Windows 8の場合

スタート画面の【デスクトップ】をクリック→マウスを画面左下へ移動しスタートアイコンを表示→アイコンを右クリックして【デバイスマネージャー】をクリック



■Windows 7の場合

①【スタート】→【コンピューター】を開き、ツールバーから【システムのプロパティ】をクリックしてください。



②タスクから【デバイスマネージャー】をクリックしてください。



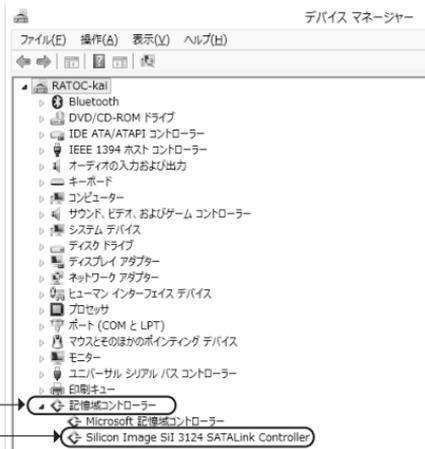
3. 【デバイスマネージャー】の画面にて、次の点をご確認ください。



表示されていない場合は、ドライバーが正常にインストールされていません。6ページ「2-2」に戻り、PCIeボードを確実に取り付け、再度インストールをおこなってください。

①【記憶域コントローラー】をダブルクリック。

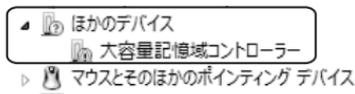
②【Silicon Image SiI3124 SATA Link Controller】が表示されている場合は、ドライバーは正常にインストールされています。



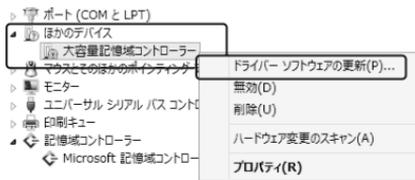
4. 以上で、PCIeボードのセットアップは完了です。

14ページ「2-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール」へ進んでください。

【ほかのデバイス】に下図のような表示がされている場合は、手順5.に進んでください。



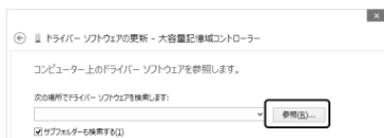
5. 【デバイスマネージャー】の画面から、【ほかのデバイス】の下の【大容量記憶域コントローラー】を右クリックして、【ドライバー ソフトウェアの更新】を選択してください。



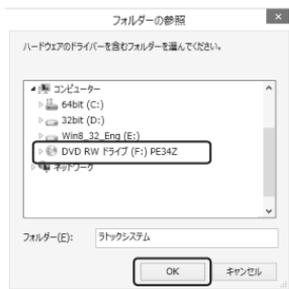
6. “コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します”をクリックしてください。



7. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入し、【参照】をクリックしてください。



8. フォルダーの参照画面で、CDドライブを選択し、【OK】をクリックしてください。



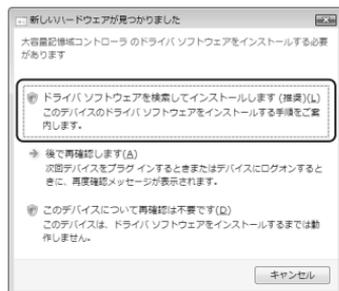
9. 次の表示でインストール完了です。【閉じる】をクリックしてください。



II. [Windows Vistaの場合]

II-1. ドライバーのインストール

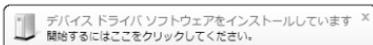
1. PCIeボード取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIeボードが新しいハードウェアとして認識され、次の画面が表示されます。“**ドライバソフトウェアを検索してインストールします**”をクリックしてください。



2. 次のメッセージが表示された場合は、**【続行】**をクリックしてください。



3. “インストールしています”の表示がタスクバーに表示されます。



インターネットに接続していない場合は、“**ディスクを挿入してください**”のメッセージが表示されます。製品添付のCD-ROMを挿入しドライバーをインストールしてください。



4. 次の表示でインストール完了です。



5. 7～8ページの手順**2～3**を参照し、デバイスマネージャーを開いてセットアップの確認をおこなってください。

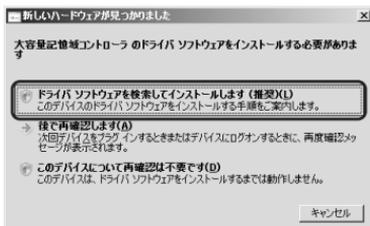
6. 以上で、PCIeボードのセットアップは完了です。
14ページ「**2-4**. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール」へ進んでください。

III. [Windows Server 2008の場合]

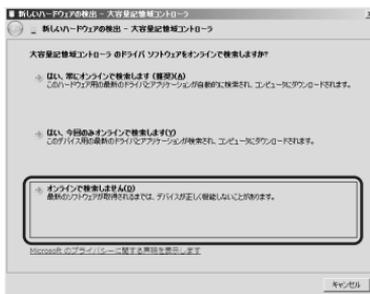
※Windows Server 2008 R2は、7ページのI. [Windows 8/7の場合]をご参照ください。

III-1. ドライバーのインストール

1. PCIeボード取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIeボードが新しいハードウェアとして認識され、次の画面が表示されます。
“**ドライバソフトウェアを検索してインストールします**”をクリックしてください。



2. “**オンラインで検索しません**”をクリックしてください。



3. 製品に添付されているCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入して【**次へ**】をクリックしてください。



4. 次の表示でインストール完了です。
【閉じる】をクリックしてください。



5. 7~8ページの手順**2**~**3**を参照し、デバイスマネージャーを開いてセットアップの確認をおこなってください。

6. 以上で、PCIeボードのセットアップは完了です。
14ページ「**2**-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール」へ進んでください。

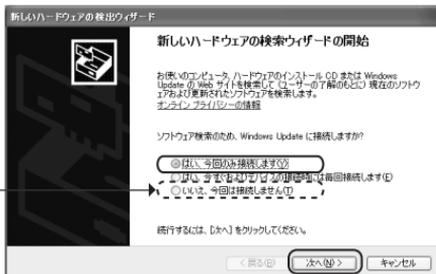
IV. 【Windows XP/Server 2003の場合】

IV-1. ドライバーのインストール

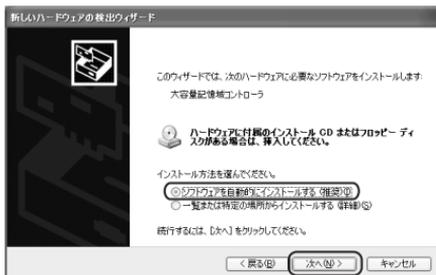
1. PCIeボード取り付け後、パソコンの電源を入れます。PCIeボードが新しいハードウェアとして認識されウィザードが開始されます。

“はい、今回のみ接続します”を選択し、【次へ】をクリックしてください。

※インターネットに接続していない場合は、製品添付のCD-ROMからも、ドライバーをインストールすることができます。



2. “ソフトウェアを自動的にインストールする”を選択し、【次へ】をクリックしてください。



3. 次の表示でインストールは完了です。【完了】をクリックしてください。



IV-2. セットアップの確認

4. PCIeボードとドライバーが、正常にセットアップされたことを確認します。
※以下、“デバイスマネージャー”の開き方(一例)を説明します。

【スタート】→【コントロールパネル】(→【パフォーマンスとメンテナンス】)→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。

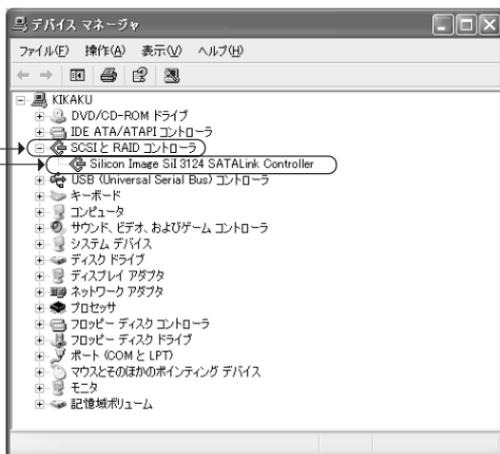
- 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックしてください。
- 【デバイスマネージャ】の画面から、【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリックして、【Silicon Image SiI3124 SATA Link Controller】が登録されている事を確認してください。

①【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリック。

②【Silicon Image SiI3124 SATA Link Controller】が表示されていれば、ドライバーは正常にインストールされています。



表示されていない場合は、ドライバーが正常にインストールされていません。6ページ 2-2に戻り、PCIeボードを確実に取り付け、再度インストールをおこなってください。



- 以上で、PCIeボードのセットアップは完了です。14ページ「2-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール」へ進んでください。

2-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール

ホットプラグツールについて



このツールは、パソコンの電源を落とさずにハードディスクなどのデバイスの取り外し/交換を可能にするソフトウェアです。パソコン使用中にデバイスの取り外し、入れ換えをおこなう場合は、必ず本ソフトウェアをインストールしてください。

1. Administrator(管理者)権限でログインしてください。
2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。
3. CDドライブを開き、【HotPlugTool】フォルダー内の【SetupHotPlugTool.exe】をダブルクリックしてください。
4. 右記インストール画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。



5. インストール場所を確認する画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。



※ 別フォルダーを指定する場合は、【変更】をクリックしてインストールするフォルダーを指定してください。

6. インストール完了です。【完了】をクリックしてください。



※ “RATOC ホットプラグツールをすぐに実行します。”にチェックを入れると、ホットプラグツールはタスクトレイに常駐します。(取り外し可能なデバイスが接続されていない場合は、アイコンは表示されません。)

2 -5. ホットプラグツールの使い方

ホットプラグツール(製品添付ソフト)は、パソコンの電源を落とさずに、対応製品のポートに接続したハードディスクなどのデバイスを、取り外し/交換(ホットプラグ機能)を可能にするソフトウェアです。

- I. 【ホットプラグツールを使用する方法】: ⇒15ページ(本ページ)
ハードディスクの接続を例に説明します。
- II. 【ホットプラグツールの設定画面について】: ⇒18ページ
ホットプラグツールの起動設定や機能のカスタマイズについて説明します。
- III. 【ホットプラグツールの終了について】: ⇒19ページ

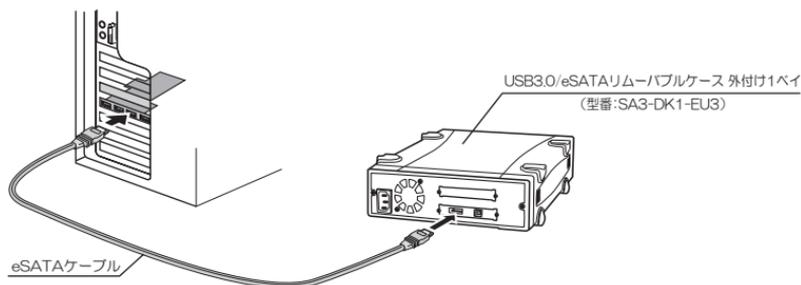
⚠ 警告

- 取り外し/交換作業をおこなう際は、必ず本章の作業手順に従ってください。下記手順をおこなわず無理に取り外し/交換をおこなうと、ハードディスクの破損、または、記録データが損失する場合があります。
- 本製品に接続したハードディスクからシステム起動している場合、ホットプラグはできません。

I. 【ホットプラグツールを使用する方法】

ハードディスクの接続を例に説明します。

1. 外付けハードディスクを接続します。



※接続したデバイスへの電源供給はおこなえません。

※eSATAケーブル、リムーバブルケース、トレイは別売品です。本製品には添付していません。
31ページ「**5** オプション品/対応製品のご案内」をご参照ください。

※ホットプラグツールはポートマルチプライヤー対応デバイスにも対応しています。
17ページ「ポートマルチプライヤーデバイス接続時の使用方法」もご参照ください。

2. パソコンを起動し、ハードディスクを認識すると、デスクトップ右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。

ハードディスクの取り外し/交換をおこなう場合、まずアイコン上でクリックしてください。



📌 ご注意

- 【ホットプラグツール】は常駐ソフトです。
- ホットプラグツールの初期設定では、機器を接続していない場合、および取り外し可能なデバイスが接続されていない場合(ダイナミックディスクなど)、アイコンは表示されません。
- ホットプラグツールのインストールをおこなっていない場合、アイコンは表示されません。

3. アイコンをクリックすると、接続しているドライブ情報が表示されます。
取り外すドライブを選択し、クリックしてください。

WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (F:) を安全に取り外します。

2009/10/22

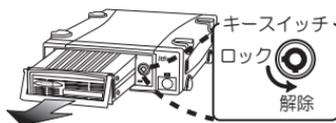
※ 全てのWindowsでは、SATAデバイスを接続した時、“SCSI Disk Device”と表示されます。
表示されるデバイスの名称は接続するデバイスにより異なります。

4. “デバイスは安全に取り外しができます。”のメッセージが表示されます。

Windows 8/7/Vista/Server 2008の場合

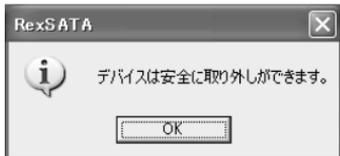
デバイスの電源をOFFにしてから【OK】をクリックしてください。手順が異なるとドライブが再接続されます。

- USB3.0/eSATAリムーバブルケース 外付1ベイ (型番:SA3-DK1-EU3)の場合



Windows XP/Server 2003の場合

【OK】をクリックしてください。



⚠ 警告: 汎用ボリュームを今停止できません。と表示された場合

このメッセージが表示された場合は、デバイスの取り外しはできません。他のアプリケーション、システム等が該当ドライブを使用している可能性があります。しばらく時間が経ってから、もう一度 2. の手順からおこなってください。

ウイルス対策ソフトウェアなど、ディスク監視をおこなうソフトウェアが該当ドライブを使用している場合は、ソフトウェアを終了してください。
無理に取り外しをおこなうと、ハードディスクの破損、記録データの損失などが発生する場合があります。



5. デバイスを取り外します。

外付けハードディスクの取り外し

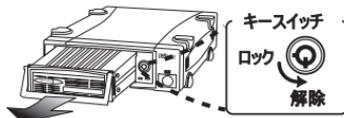
外付けハードディスクの電源を切るか、eSATAケーブルを抜いてください。



外付けハードディスクの交換後、eSATAケーブルを接続するか、外付けハードディスクの電源を入ると再びドライブが表示されます。

トレイの交換

Windows XP/Server 2003の場合は、キースイッチのロックを解除してから、トレイを取り外してください。



トレイ交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

ポータルマルチプライヤーデバイス接続時の使用方法

ホットプラグツールは、ポータルマルチプライヤー対応デバイスにも対応しています。



RAID対応
USB3.0/eSATA
リムーバブルケース
外付け5ベイ
(型番:SA3-DK5-EU3R)

- 多段タイプのデバイスを接続した場合は、何段目に装着したトレイかの情報を加えて表示します。

```
[ HOST:5 PORT:1 ] PORT MULTIPLIER UNIT
[ TRAY:1 ] Hitachi HTS541260H9SA00 SCSI Disk Device- ドライブ (E:) を安全に取り外します。
[ TRAY:2 ] WDC WD10 01FALS-00J7B1 SCSI Disk Device- ドライブ (F:) を安全に取り外します。
[ TRAY:3 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (G:) を安全に取り外します。
[ TRAY:4 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (H:) を安全に取り外します。
```

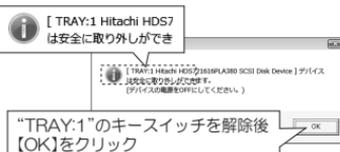
- PORT MULTIPLIER UNITを選択した場合、ドライブを一括で取り外します。

例) 選択
TRAY:1,2,3,4が
取り外される。

```
[ HOST:5 PORT:1 ] PORT MULTIPLIER UNIT
[ TRAY:1 ] Hitachi HTS541260H9SA00 SCSI Disk Device- ドライブ (E:) を安全に取り外します。
[ TRAY:2 ] WDC WD10 01FALS-00J7B1 SCSI Disk Device- ドライブ (F:) を安全に取り外します。
[ TRAY:3 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (G:) を安全に取り外します。
[ TRAY:4 ] WDC WD10 01FALS-00J7B0 SCSI Disk Device- ドライブ (H:) を安全に取り外します。
```

※Windows 8/7/Vista/Server 2008の場合

取り外しメッセージで、取り外すTRAY Noを1つずつ表示します。該当段のトレイのキースイッチを解除してから、【OK】をクリックしてください。



II.【ホットプラグツールの設定画面について】

タスクトレイのアイコンをダブルクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。

ここでは、ディスクの取り外し/ホットプラグツールの起動に関する設定/機能のカスタマイズが可能です。



① ハードウェアデバイス

現在接続しているデバイスが表示されます。停止するデバイスを選択し【停止】をクリックすると、デバイスを取り外すことができます。

② システム起動時にホットプラグツールを起動する。

ホットプラグツールを常駐させない場合、このチェックBOXのチェックを外してください。次回起動時から、ホットプラグツールは自動的に起動(常駐)しません。

※1:常駐させていない時の起動方法は、【スタート】→【すべてのプログラム】→【RATOC ホットプラグツール】内の【RATOC ホットプラグツール】をクリックしてください。



※2:常駐時に※1と同じ操作をしたときは“ハードウェアの安全な取り外し”ダイアログボックスが表示されます。

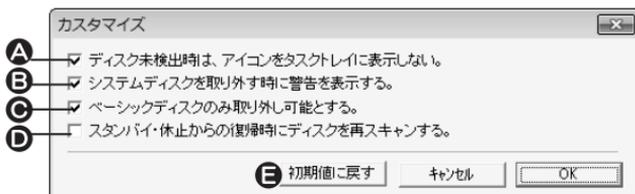
③ 再スキャン

【再スキャン】をクリックするとデバイスの検索をします。ディスクが見つからない場合や、デバイス名がUnkown Deviceなどと表示される場合などにご使用ください。

④ カスタマイズ(上級者向け)

【カスタマイズ】をクリックするとダイアログボックスが表示されます。ここでホットプラグツールの機能をカスタマイズすることができます。

前ページ(④カスタマイズ)の説明つづき



- A** ディスク未検出時は、アイコンをタスクトレイに表示しない。
※チェックを外すと、ホットプラグツール起動時は常にアイコンが表示されます。
- B** システムディスクを取り外す時に警告を表示する。
※チェックを外すと、システムがインストールされている可能性があるディスクを外す場合でも、警告を表示しません。
- C** ベーシックディスクのみ取り外し可能とする。
※チェックを外すと、ダイナミックディスクなども取り外し対象となります。
※ダイナミックディスクのドライブ文字は表示されません。
- D** スタンバイ・休止からの復帰時にディスクを再スキャンする。
※復帰時にディスクが見つからない場合にチェックしてください。
※正常なパソコンではチェックをONにしないでください。再スキャン処理にかかる余計なリソースを消費します。
- E** 「初期値に戻す」ボタン
※クリックするとチェックON/OFFを初期値に戻します。



ご注意

システムディスク/ダイナミックディスクの取り外しはシステムエラーの発生リスクを伴います。ご注意ください。

Ⅲ.【ホットプラグツールの終了について】

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されますので、【アプリケーションの終了】を選択してください。



アイコン表示がないときは

ディスク未検出でアイコン表示がないときに、“アプリケーションの終了”をおこないたい場合は、まず、スタートメニューからRATOC ホットプラグツールを選択し、カスタマイズ(上記 **A** 参照)により、アイコンを表示させてください。

2-6. ホットプラグツールの削除

Windows 8/7/Vista/Server 2008の場合

※例はWindows 8の画面です。その他OSでは画面が若干異なります。
※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【コントロールパネル】→【プログラムのアンインストール】(クラシック表示では【プログラムと機能】)を選択してください。

2. 【RATOC ホットプラグツール】を選択し、【アンインストール】をクリックしてください。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、【はい】または【続行】をクリックしてください。



3. 確認画面が表示されますので【はい】をクリックしてください。



4. ホットプラグツールの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。



Windows XP/Server 2003の場合

※例はWindows XPの画面です。その他OSでは画面が若干異なります。
※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【コントロールパネル】→【プログラムの追加と削除】を開いてください。

2. 【RATOC ホットプラグツール】を選択し、【変更と削除】をクリックしてください。



3. 確認画面が表示されますので【OK】をクリックしてください。



4. ホットプラグツールの削除は完了です。【完了】をクリックしてください。



2 -7. PCIeボード経由でOSをインストールする

本製品に接続したハードディスクに、OSをインストールする手順を説明します。

I. 【Windows 8/7/Vista/Server 2008の場合】: ⇒21ページ(本ページ)

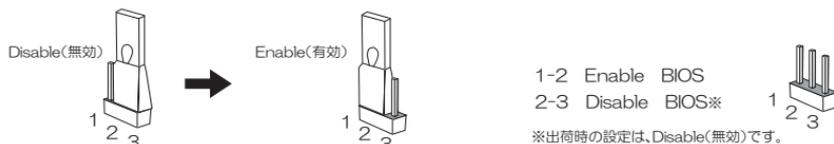
II. 【Windows XP/Server 2003の場合】: ⇒22ページ

ご注意

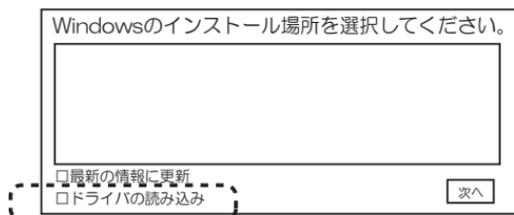
本製品に接続したハードディスクにOSをインストールすることができます。
ただし、パソコンにより方法が異なりますので、サポートおよび動作保証の対象外となります。

I. 【Windows 8/7/Vista/Server 2008の場合】

1. 本製品をPCIeスロットから取り外し、ジャンパースイッチをEnable(有効)へ変更します。
ジャンパースイッチを変更後、PCIeスロットに本製品を取り付けます。



2. 製品添付CD-ROMを用意します。
3. OSのDVDをセットして、DVDからシステムを起動します。
4. Windowsのインストール画面が表示されますので、画面の指示に従って進めてください。
5. 次の画面で、【ドライバの読み込み】をクリックしてください。

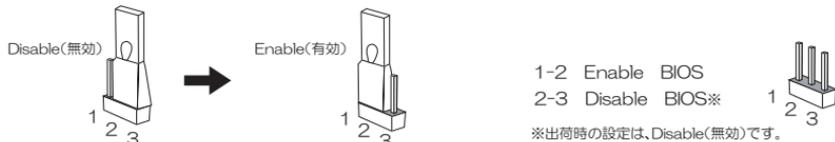


6. メディアを要求されますので、OSのDVDを取り出して、製品添付のCD-ROMに入れ替え、【参照】をクリックしてください。

7. フォルダーの参照画面が表示されます。
ツリー表示から【CDドライブ】の【Driver】の中での【32bit】フォルダー(64ビット版の場合は【64bit】フォルダー)を選択し【OK】をクリックしてください。
8. インストールするドライバーで【Silicon Image SiI3124 SATALink Controller】を選択し【次へ】をクリックしてください。
9. 「Windowsのインストール場所を選択してください」の画面で、本製品に接続されたハードディスクを選択し【次へ】をクリックしてください。
10. Windowsのインストールディスクを要求されますので、製品添付のCD-ROMを取り出して、OSのDVDに入れ替え、【OK】をクリックしてください。
11. 以上で、本製品に接続したハードディスクへのOSインストールが開始されます。

II. 【Windows XP/Server 2003の場合】

1. 本製品をPCIeスロットから取り外し、ジャンパスイッチをEnable(有効)へ変更します。ジャンパスイッチを変更後、PCIeスロットに本製品を取り付けます。



2. フォーマット済みのフロッピーディスクを用意し、製品添付CD-ROMの【Driver】フォルダー→【32bit】フォルダーの中身をすべてコピーしてください。



Windows XPx64/Server 2003x64の場合は、【64bit】フォルダーの中身をフロッピーディスクにコピーします。

3. OSのCDをセットして、CD-ROMからシステムを起動します。
4. システム起動中に、本製品に接続したハードディスクの型番と容量が、次のように表示されていることをご確認ください。

```

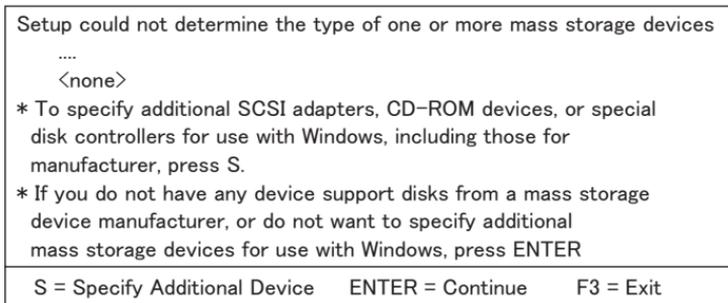
SiI 3124 SATALink BIOS Version 6.4.09
Copyright (C) 1997-2007 Silicon Image, Inc.

0  WDC WD2500KS-00MJB0          232 GB
  
```

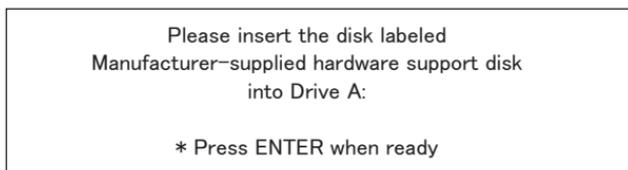


型番と容量はご使用のハードディスクによって表示が異なります。

5. 画面左上に「Windows Setup」と表示され、画面下に「Press F6- if you need to install a third party SCSI or RAIDdriver.....」と表示されている間に[F6]キーを押します。
6. インストールの途中で以下の画面が表示されたら、[S]キーを押してください。



7. ディスク挿入を促す下の画面が表示されます。
“II-2.”で作成したフロッピーディスクをセットして[Enter]キーを押します。



8. 下記のように表示されます。
インストールする各OSに合わせて選択し、インストールを続行します。

<Windows XPx64/Server 2003x64の場合>

Silicon Image Sil 3124 SATALink Controller (64-bit Extended)

<Windows XP/Server 2003の場合>

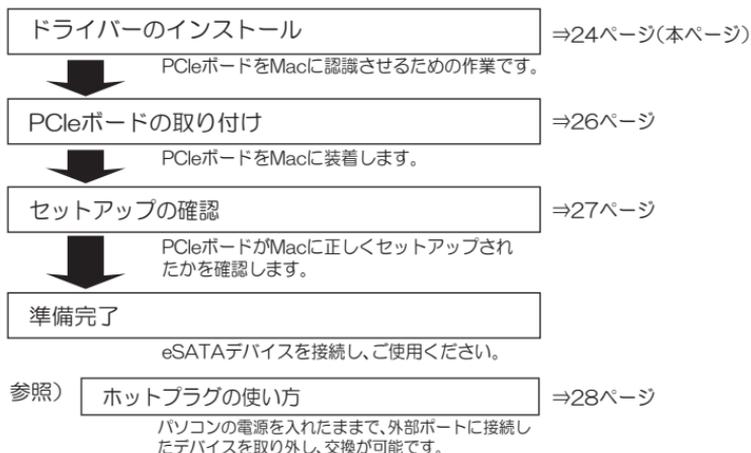
Silicon Image Sil 3124 SATALink Controller for Windows XP/Server 2003

9. 以上で、本製品に接続したハードディスクへのOSインストールが開始されます。

3

Mac OSで使用する場合

3-1. 本製品が使えるようになるまでの手順



👉 ご注意

※PCIeボードを取り付ける前に必ずドライバーのインストールをおこなってください。
(間違っても先にPCIeボードを取り付けた場合は、一旦PCIeボードを取り外してからドライバーのインストールをおこなってください。)

※Mac OSの場合、本製品に接続したハードディスクからの起動には対応していません。

3-2. ドライバーのインストール

1. 製品添付のCD-ROMをMacのCDドライブに挿入し、CD-ROMの中の【Sil3124_2.0.3_Sil_Pkg】をダブルクリックしてください。
2. “ようこそ”画面が表示されます。【続ける】をクリックしてください。



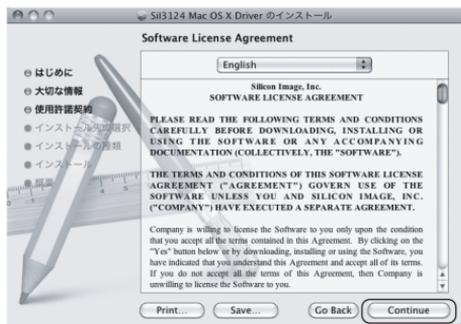
Sil3124_2.0.3_Sil_Pkg



3. “大切な情報”画面が表示されます。
【続ける】をクリックしてください。



4. “使用許諾契約”画面が表示されます。
【Continue】をクリックしてください。



5. 次のメッセージが表示されます。
【Agree】をクリックしてください。



6. 【インストール】をクリックしてください。

※インストール先を変更したい場合は、
【インストール先を変更...】をクリックしてください。



7. パスワードを入力し【OK】をクリックしてください。



8. インストール完了です。
【閉じる】をクリックしてください。



3 -3. PCIeボードの取り付け

1. Macの電源を切ります。
2. PCIeスロットに、PCIeボードを取り付けます。

※お使いのMacの取扱説明書にて、PCIeスロットの対応レーンをご確認ください。

本製品は、x8またはx16レーンに装着すると、最適なパフォーマンスで動作します。

※Mac Pro(Original)とMac Pro(8x)では、拡張スロットユーティリティにて、レーン設定を変更する必要がある場合があります。



※例では、スロット番号「2」に取り付けています。

⚠ 注意

- ボード上のファンと隣接するボードや配線ケーブルが干渉しないよう注意して取り付けてください。
- スロットに対し、ボードが傾いた状態で利用すると、本製品やMac本体が破損する恐れがあります。
- 金色の接触部がソケットへ完全に見えるまで挿入してください。
- 図示のように、ブラケットは必ずネジ止めをしてください。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、十分注意して作業をおこなってください。

3-4. セットアップの確認

1. PCIeボードを取り付け後、Macの電源を入れます。



次のようなメッセージが表示された場合は、本製品を装着したスロットがx1またはx4レーン設定の可能性があります。

本製品のパフォーマンスを最大に引き出すために、装着するスロットを変更するか、拡張スロットユーティリティにてレーン設定をx8またはx16に変更してください。

取り付けられているPCI Expressカードが変更され、そのうち1枚以上のカードが最大のパフォーマンスで動作していない可能性があります。このため、拡張可能なPCI Expressレーンが搭載されています。

このシステムには、PCI Expressカードの構成に応じてパフォーマンスを調整できる、機能可能なPCI Expressレーンが搭載されています。

注意：グラフィックカードには標準、x16 PCI Express レーンが必要です。ただし、x8 PCI Express レーンを使用しても、最大に近い速度で動作することもあります。

OK

2. PCIeボードとドライバーが正常にセットアップされたことを確認します。
【移動】→【ユーティリティ】→【システムプロファイラ】をダブルクリックしてください。
3. 【ハードウェア】カテゴリの【PCIカード】をクリックし、【pci1095,3124:その他の大容量記憶装置コントローラ】が登録されていることをご確認ください。

- ①【PCIカード】をクリック。
- ②図示のように、表示されていれば、ドライバーは正常にインストールされています。



表示されていない場合は、ドライバーが正常にインストールされていません。
【Macintosh HD】→【システム】→【ライブラリ】→【Extensions】の中にある、【Siliconimage3124.kext】ファイルがあるかどうかをご確認ください。このファイルがない場合は、一旦PCIボードを取り外した後、24ページ【3-2. ドライバーのインストール】以降の手順で再度セットアップをおこなってください。(PCIボードの取り付けは確実におこなってください。)

4. 以上で、PCIボードのセットアップは完了です。
eSATAデバイスを接続し、ご使用ください。

本製品はホットプラグ対応です。

使い方は、28ページ【3-5. ホットプラグの使い方】をご参照ください。

3 -5. ホットプラグの使い方

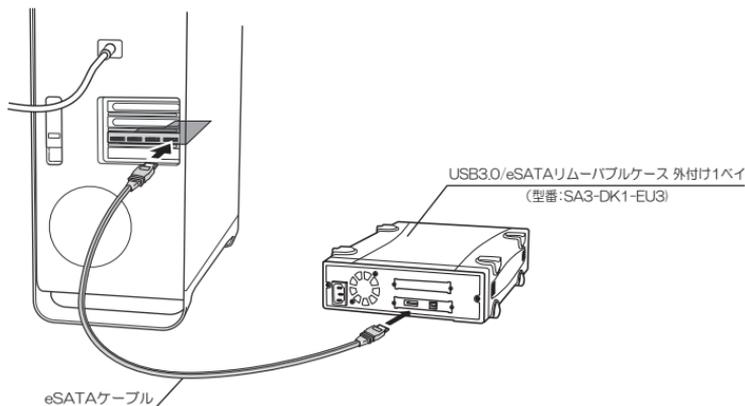
本製品は、Macの電源を落とさずに、外部ポートに接続したハードディスクなどのデバイスを取り外し/交換が可能です。

⚠ 警告

取り外し/交換作業をおこなう際は、必ず本章の作業手順に従ってください。
下記手順をおこなわず無理に取り外し/交換をおこなうと、ハードディスクの破損、または記録データが損失する場合があります。

ハードディスクの接続を例に説明します。

1. 外付けハードディスクを接続します。(図は外付けリムーバブルケース)



※接続したデバイスへの電源供給はおこなえません。

※eSATAケーブル、リムーバブルケース、トレイは別売品です。本製品には添付していません。
31ページ「5 オプション品/対応製品のご案内」をご参照ください。

※ポータルマルチプライヤー対応デバイスも接続できます。



RAID対応
USB3.0/eSATA
リムーバブルケース
外付け5ベイ
(型番:SA3-DK5-EU3R)

2. Macを起動し、ハードディスクをマウントすると、デスクトップに右記アイコンが表示されます。

※ボリューム名は環境により異なります。



RATOC1

3. 取り外すドライブのアイコンを選択し、ゴミ箱へ捨ててください。



4. ドライブを取り外します。

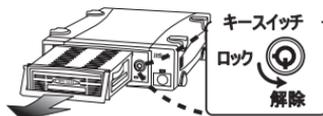
外付けハードディスクを取り外す場合

外付けハードディスクの電源を切るか、eSATAケーブルを抜いてください。

 外付けハードディスクの交換後、eSATAケーブルを接続するか、外付けハードディスクの電源を入れると再びドライブが表示されます。

トレイを交換する場合

キースイッチのロックを解除して、トレイを取り外してください。



 トレイの交換後キースイッチを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

3-6. ドライバーの削除

本製品のドライバーを削除する必要がある場合のみ実行してください。

【Macintosh HD】→【システム】→【ライブラリ】→【Extensions】の中にある、【Siliconimage3124.kext】ファイルをゴミ箱へ捨ててください。

4 お問い合わせ

4-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。

なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等をおこなう関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいますようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル

TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410

FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。

またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。

<http://www.ratocsystems.com/>

4-2. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。

故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。

なお、修理は部品修理ではなく全交換修理となる場合がありますことをご了承ください。修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:06-6633-0190

〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本
・製品
・質問用紙 (本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。)

〈送付方法〉 宅配便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。
詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

5 オプション品/対応製品のご案内

オプション品/対応製品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。
<http://rps.ratocsystems.com/>

◆ ケーブル

型番	品名
RCL-ESATA-10	eSATAケーブル 約100cm

◆ eSATAリムーバブルケース(外付けタイプ)

型番	品名
SA3-DK1-EU3	USB3.0/eSATAリムーバブルケース 外付け1ベイ
SA-DK1AES	eSATAリムーバブルケース 外付け1ベイ
SA3-DK5-EU3R	RAID対応 USB3.0/eSATAリムーバブルケース 外付け5ベイ

Win/Mac両対応



USB3.0/eSATA
リムーバブルケース外付け1ベイ



eSATA
リムーバブルケース 外付け1ベイ



RAID対応 USB3.0/eSATA
リムーバブルケース 外付け5ベイ

◆ 5インチドライブケース

型番	品名
RS-EC5-EU3	USB3.0/eSATA 5インチドライブケース
RS-EC5ES-BK	eSATA 5インチドライブケース

Win/Mac両対応



USB3.0/eSATA
5インチドライブケース



eSATA
5インチドライブケース

6

一般仕様

型番	REX-PE34-Z
名称	eSATA 4ポート PCI Expressボード
対応OS	Windows 8/7/Vista/XP、Windows Server 2008/2003 ※32ビット・64ビット両対応。(Windows XPを除く) Mac OS X 10.4以降 ※64ビット版には対応していません。 ※Mac OS X 10.6.1(32ビット)での動作は確認済みです。(2013年9月現在)
対応機種	PCI Expressスロット (x8またはx16) を装備した以下の機種 ・ Windows PC ・ Mac Pro
バスインターフェイス	PCI Express x8 (PCI Express Standard 1.0a準拠)
SATAコントローラー	SiI3124 (SATA II準拠、ポートマルチプライヤー対応)
Boot BIOS	搭載 (ジャンパースイッチにて設定 1-2 : 有効 2-3 : 無効)
接続コネクタ	eSATA×4 アクセスLED用コネクタ
データ転送速度	3.0Gbps (理論値)
電源電圧	DC +3.3V (PCI Expressスロットより供給)
電源管理	ACPI対応
動作環境	温度 : 0~55℃、湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	約104mm(W)×125mm(L) ブラケット部含まず
重量	約110g
製品内容	eSATA 4ポート PCI Expressボード ソフトウェアCD-ROM、ユーザーズマニュアル、保証書
添付ソフトウェア	ドライバソフトウェア、ホットプラグツール (Windows用)
保証期間	1年

※ eSATAケーブルは最長200cmまでのものを使用してください。

※ Mac OSの場合、本製品に接続したハードディスクからの起動には対応していません。

※ Boot Campなどの仮想OSでの使用はサポートしていません。

※ Mac OSのクラシック環境での使用はサポートしていません。

※ 接続したデバイスへの電源供給はおこなえません。

※ SATA IIの機能 (3Gbps転送やNCQなど) を使用するためには、各機能に対応したデバイスが必要です。

※ 本製品は国内仕様となっており、海外についての保守およびサポートはおこなっておりません。

※ 製品改良のため、将来予告なく外観、または仕様の一部を変更する場合があります。

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-PE34-Z	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	[Winodws] <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> Vista <input type="checkbox"/> XP <input type="checkbox"/> Server 2008 RC <input type="checkbox"/> Server 2008 <input type="checkbox"/> Server 2003 ※該当の方はチェック ⇒ <input type="checkbox"/> ServicePack()を適用 <input type="checkbox"/> 64ビット版を使用 [Mac OS] <input type="checkbox"/> Mac OS X (Ver)			
接続機器	分類	<input type="checkbox"/> ハードディスク <input type="checkbox"/> その他()	型番	
	メーカー名			
質問内容				
添付資料	<input type="checkbox"/> Windows: デバイスマネージャーのシステム概要※1 <input type="checkbox"/> Mac: システムプロファイラの簡易レポート※2 <input type="checkbox"/> その他()			

※1 デバイスマネージャーのシステム概要の印刷方法

- (1) [スタート]メニューから[すべてのプログラム(Windows 2000: プログラム)]-[アクセサリ]-[システムツール]-[システム情報]を選択します。
Windows 8の場合: [スタート]画面から[デスクトップ]を開きます。画面左下の右クリックメニューから[システム]を選択し、画面左下の「パフォーマンスの情報とツール」-画面左上の「高度なツール」-「システムの詳細をシステム情報で表示」をクリックし、[システム情報]を開きます。
Windows 7の場合: [スタート]メニューの検索ボックスに「システム情報」と入力し、検索結果から[システム情報]を開きます。
- (2) Windows 8/7/Vista/XP: [ファイル]-[エクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
Windows 2000: [操作]-[一覧のエクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
- (3) 保存したテキストファイルを開き、印刷します。

※2 システムプロファイラの簡易レポートの印刷方法

- (1) Finderのメニューバーから[移動]-[ユーティリティ]-[システムプロファイラ]を開きます。
- (2) [表示]-[簡易レポート]を選択します。[ファイル]-[プリント]を選択し、簡易レポートを印刷します。

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>

